

エチオピア新聞

1年が経過し、その後の活動は...

青年海外協力隊
卓球隊員 篠木伊貴

vol. 04 2017.6

グルメのコーナー

朝・昼・夕

アカデミーでの食事



ユースアカデミーでの食事は、朝、昼、晩と決められた時間に食べることになっています。写真は朝ごはん、パンとご飯、もしくはパンとショルバ（スープ）、シャイ（紅茶）もしくはホットミルクと宗教によってメニューが選べるようになっています。栄養バランスが少し気になりますが、一食の食べる量は日本と比べると多いような感じがします。また、昼はパスタかインジュラ、夜はインジュラです。大会の日も私も生徒たちに混ざって一緒にご飯を食べています。

4月6日は卓球の日



国際卓球連盟が決めた4月6日は「世界卓球の日」に指定されています。エチオピア卓球連盟でもこの日は、大きな垂れ幕を事務所の前に張り、また、卓球台を設置し野外卓球ならぬ「青空卓球」が開催されました。



※4

※2

※1

※3

エチオピアに来て、一年が経とうとしています。この一年慣れない環境下の活動し、良い面も悪い面も見え、様々なことを考えさせられました。今回は私が活動しているユーススポーツアカデミーでの活動経過を紹介したいと思います。まず初めに、アカデミーでは年に一度、エチオピアアカデミーでの年が明けける9月に卓球用品が支給されます（ラバー2枚、ラケット1本）。しかし、写真（※1）にも見られるように、彼らはこの時期にしかラバー交換をすることができません。卓球用品の購入がエチオピアでは困難です。アカデミーは年に一回の輸入に頼っていることもあり、生徒たちはラバーの劣化が激しくても交換できないのが現状です。これは試合でボールに回転がかからなかったり、ルールの規定に違反してたり、思うようにプッシュできない等の支障が出てきます。また、エチオピアでは今でも有機溶剤のグルーを使ってラバーを張っています（※2）。国際大会では禁止されている有機溶剤...。この問題を解決するには輸入問題を解決するしか方法がないと思います（涙）。練習時に使用しているボールはイスターで、オレンジ色と白色のボールを混ぜて使用しています（※3）。体育館の床がコンクリートということもあり、ピンポン玉は壊れやすく、1週間に20個近く壊れてしまいます。また、防護フェンスは無く、ボールは散らかり、さらに他競技（4〜5）も練習しているためとても危険な環境です（※4）。まだまだ問題はたくさんありますが、今後の活動では防護ネットの作成、アカデミーとの卓球用品の相談などを考えています！

○着任から一年経ち、様々な課題が浮き彫りに...

アティスアベバ大会の様子

今年の三月アティスアベバ卓球連盟主催の大会がありました。この大会ではアカデミー側からベンチコートとしての依頼があり、正直ベンチにいてもアムハラ語でしかコミュニケーションが取れない子どもたち相手にどこまでアドバイスをできるのかが心配でした。しかし、身振り手振り、普段使っている数少ない単語を出しながらアドバイスをし、それもあってか、男子シングルスでは1年生の生徒が優勝、男子団体2位、3位、男子ダブルス3位、そしてベスト訓練賞を頂きました。残念ながら女子は入賞しませんでした。残念ながらアカデミー創設以来の快挙で、ユースアカデミー大喜びでした。また、連盟側から私にコート賞を頂き、とても貴重な経験をさせていただきました。これから雨期に入るため生徒たちはそれぞれ地方にある実家に帰省するため、年が明けける9月までアカデミーでの活動はお休みとなります。その間はエチオピア卓球連盟での活動が中心になると思っているので、これからの活動に好期待！



大会にエチオピアコートとして参加！